

OURA だより

vol.1

現在大浦で取り組んでいる「大浦地域まちづくり公共施設ワークショップ」の様子をお伝えする広報誌です！

協力：特定非営利活動法人リデザインマネジメント研究所
発行：舞鶴市財務部資産マネジメント推進課
企画・編集：福知山公立大学地域経営学部杉岡ゼミ

01|施設見学&趣旨説明



ワーク開始前に施設見学を実施！建物の老朽化度合と施設の使い方を確認し、ワークに役立つ材料を集めました。ワークは全体進行役の近野成宏さん（特定非営利活動法人リデザインマネジメント研究所）による、目的とゴールを示しての趣旨説明からスタートしました。

【ワークショップの目的とゴール】

【目的】地域の視点で今と未来に必要なサービスと施設のカタチを考える
【ゴール】豊かな暮らしに必要なサービスを起点に、公共施設や地域資源の新たな活用法を提案する。

【第1回】
会場：大浦会館
日時：2025年5月31日
参加者：44人
(うちWS参加者29人)



02|ワークショップ

①あなたの利用体験をマップにしよう！

地域の施設や資源をどんなふうに使っているかを、利用頻度ごとに色分けした付箋に書き出し、貼り付けました。

②くらしの“モヤモヤ”を出してみよう！

付箋に日々のモヤモヤを書き出すワーク。
「買い物に行きづらい」「交通手段がない」などの意見が出ました。



完成した模造紙の詳細はこちらの二次元コードからご確認ください。

03|全体共有&講評



各班から意見共有の発表があった後にアドバイザーから講評がありました。

・杉岡先生（福知山公立大学准教授）

「公共施設は「自分ごと」、一人ひとりの人生と共に未来を描こう。」

・堤先生（前橋工科大学准教授）

「今ある施設からじゃなく「必要なコト」から考える公共施設の活用が重要。」

【次回お知らせ】「必要なことをどこで/どう担うかを考える」

日時：2025年6月22日（日）10:00～12:00 会場：舞鶴親海公園

ワークショップの実施内容については、舞鶴市のホームページに掲載しています。

詳しくは二次元コードよりご確認ください。また、参加者の募集も随時行っています。【お問い合わせ 資産マネジメント推進課 0773-66-1045】

